

市民の生活を無視した

水道料金45%値上げ強行

昭和40年6月1日(火)

市民の強い反対をみにしり、大牟田市の水道料金値上げは、五月三一日の臨時議会で四五%値上げ(超過料金五〇%値上げ)を、民主・三交・刷新・無所属の与党四派のみの出席によって强行採決された。

名	料金	高さでいま
都	基本	
市	200円	
大	180円	
福	170円	
久	140円	
東	140円	
大	100円	
広	140円	

(昭和40年1月現在)

これまでの経過

極的に行動を進めれば料金値上げの必要なし、といつ革新クラブの意見ど、審議を続行しても値上げをしないですが見通しまないと、うと与党との意見の対立が続いてきたが、与党側は五月一杯に議定しなければ、六月からの値上げに間に合わせなど方針で、今後の特別委員会は五月三一日に予定される料金値上げについても、五万に

二池の火はここにも受け継がれている

大牟田白金鉄工所の斗い

合同労組白金鉄工支部は、八年の三池大火災を契機に、労働基準法無視による年少者、婦人の深夜労働や強制労働に明づくれる職場を少しでも改善し、会社の反省を促して明朗な職場確立を指標に、三池労組の子弟たちが中心に、三千余名をもって労働組合を結成し、大牟田合同労組の組合員として大地評に加盟しました。

(現在では会社の組織切りくじし等により十九名、第二組合約一〇〇名)しかしこの若い組合員たちも、公休出勤拒否をもって抵抗抗いつづけています。

ところが、本年四月一七日公傷で休んでいた組合員が出勤した当 日「お前みたいにけがをするやつは使えない」と云う理由で首切りを受け、更に五月三日闇交の席上、一切の無法を承知の上と称して、三井製作所の合理化を理由に

七名の大量首切りを宣告してしまいました。しかし合同労組白金支部は毎週組合執行部を中心として、そのは

与党の一方的値上げ強行

三井と結びついた田代市長は、三井のトントン当り一円九十七銭を四円に切り下げる、市民の払料金は六〇%値上げを三月議会で決めようとした。

市民の生活を考えたこの料金値上げに、市長は、政府と三井に要求せよ、といつ反対運動があり上

がり、三月議会での六〇%水道料金値上げ反対闘争では、革新議員団と地評収下の組合員の他、せんたく屋ある屋組合および一般市民大衆との共闘による激しい攻撃に四月の臨時議会までに繼續審査として提案をひきこめた。

革新クラブからの強い要請で、

値上げをする前のなすべきすべての手段をひきこめた。

特別委員会の設置にねいこんだ。特別委員会では源水経営、漏水の三分科会に別れ、さらに水道事業に關係する法律改正のための中央つきあいを含めての作業をすすめた。

ききました。しかし合同労組白金支部は毎週組合執行部を中心として、そのは

一回の走例審査と天地評収下の

特別委員会の調査、交渉の結果

地元、中央の事情にじらして、積労者との交流の中で、少数人間

を除く、わずか二名の与党過半数

はく返してきました。

しかし、このような強い市民の要求にあかかわらず、現在の議員

総数三五名中、革新クラブ(一四名)、公明党(三名)、共産党(一)

を除く、ねだり二名の与党過半数

はく返してきました。

しかし、このように強い市民の

要求にあかかわらず、現在の議員

総数三五名中、革新クラブ(一四名)、公明党(三名)、共産党(一)

を除く、ねだり二名の与党過半数

はく返してきました。

しかし、このように強い市民の

要求にあかかわらず、現在の議員